

# 「陽だまり保育園」にみる古民家転用の手法

浅川 巡 (東京電機大学大学院)  
横手義洋 (同)

**明治時代に建てられた民家を移築再建し、園児が昔ながらの生活を体験できる保育園へ転用した例。施設構想には保育園経営理事長を中心に、設計士、園児保護者が参加した。**

## 1. 福祉転用した動機

理事長の木村氏が目指す保育の理想として、こどもたちが昔ながらの生活を体験できる、日常生活のなかで伝統を体験していくというコンセプトの基、「原始的で直接的な実体験」の場を追求した結果、古民家を利用するアイデアが自然に出てきたという。同氏はしばしば、小学校は木造がいいと言われるのに、保育で古民家を利用されないことに違和感を感じており、木造の保育園を建てるのなら古い建築の質感をそのまま使いたいと考えたという。

## 2. 福祉転用する建物を選択した経緯

古民家で保育園をつくりたいと思い、保育事業者を公募していた高根沢町を拠点として使える古民家を探した。市内にも古民家はあったが折り合わず、検討中に知り合った左官屋さんに紹介していただき、今の園舎のもとになる古民家を埼玉県で見つけ、移築利用の運びとなった。

## 3. 計画や設計のときに特に配慮した点

古民家を解体、移築し再建するなかで、1. 構造的な強度、2. 建築基準法上の法規制、3. いかにか元の古民家の空間を法規制の縛りの中で実現するか、がポイントとなった。

保育室の並びは土間を中心に、板間と畳間をセットとして構成した。新たに2クラスを増設する際には、既存部分と同じような仕様にしてほしいという法人の意向があり、似せて作った。移築した箇所はなるべくそのままの梁を使い、増設箇所には、使える部材をなるべく使用する方針のもと、移築時に使わなかった主屋と別の場所の梁を、大工に現場で継手を作って組んでもらって使用した。

## 4. 開設までに直面した課題と解決方法

構造計算と建築基準法への対応で苦労した。この建物は準耐火建造物だが、昔の建物でも、燃え代設計で準耐火建築物にできるが、移築建築物など古材を使って新たに建てる場合は断面があってもJAS材を使うという規定があり、古材は柱や梁には使えない。現行法規では、「JAS製造の工場から出荷した材をJAS材とする」規定であるため、

解決策として、建物を解体している現地にJASの検査員を呼び、ヤング係数、目視等級、透水性などその場で検査を受けてJAS同等品という認定を得て、これを根拠として国交省へ認可申請を出した。その結果、説明が認められて古材を柱・梁として利用できる運びとなり、古民家ならではの空間を活かした移築が可能となった。

## 5. 福祉転用の効果と課題

古民家の特徴である田の字型プランを活用し、畳の間を午睡や静的活動の空間、板間を動的活動の空間と、静動のメリハリを実現している。古民家の特徴でもある天井高低の低い畳の部屋が北側にあり、こどもたちが落ち着いて過ごせる一方、南の縁側に隣接する板間は上部吹き抜けとし、外光を取り込み明るいスペースとした。また、保育室間が壁でなく板戸であることで隣のクラスの気配を感じられる。この関係性には、こどもが年上児へのあこがれをもちつつ成長していく関係性が期待されている。他方、園庭から縁側への段差は現状ではこどもにとっては高く使い勝手が悪いため、一段足場を作ることを検討中である。もともとは広縁をとって食事場所などにしたかったが、現在は保護者が腰を掛けて話すなど溜まりの空間となっている。

## 6. 周辺地域との関わりや連携

地域に根ざした保育を目指し、主屋の土間ホールや乳児棟ホールは、地域の人にも貸し出している。園に近接する新興住宅地の住民には抵抗なく受け入れられた一方、旧来の集落の住民には、新参者が立ち上げた新しい保育園と思われまだ緊密な関係に至っていない。同集落では、昔から続いていた夏祭りが途絶えてしまっており受け継がれている立派な御神輿も眠っている状況である。保育園としては、園が文化の継続的な担い手、継承者として役立て、地域の活性化に貢献できればという考えがあるが、どうしても付き合う地域に偏りが出ている。法人としてはゆくゆくは、老人は老人、こどもはこどもという個別対応の施設ではなく、中間世代も混じって一緒に過ごせる、長屋のような施設・エリアの実現を目指している。

**陽だまり保育園概要**

事業者： 社会福祉法人 陽向 保育所型認定こども園 陽だまり保育園

所在地： 栃木県塩谷郡高根沢町

用途： 保育園

転用前建物： 民家

建物構造： 木造

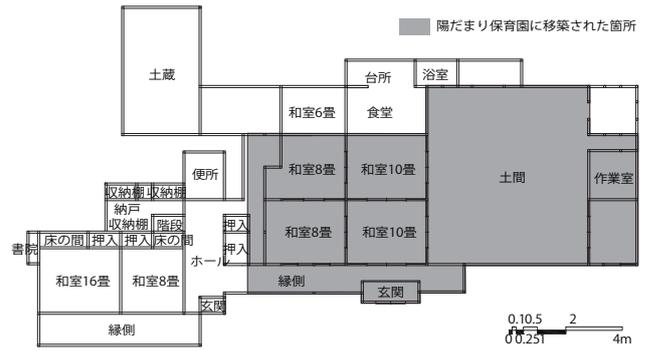
開設年： 2011年

設計： 安藤設計

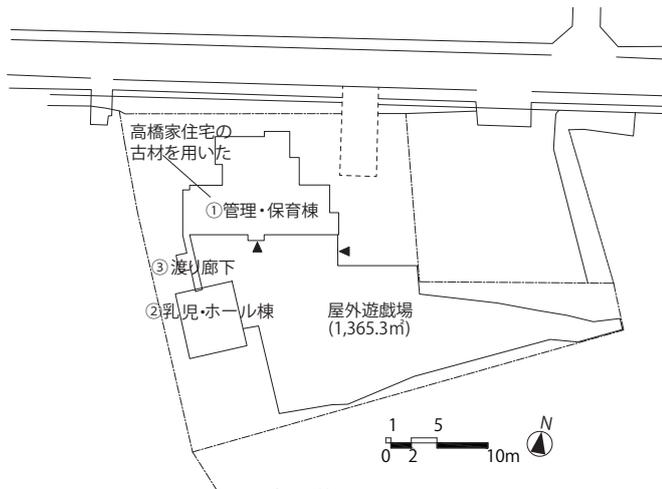
年表： 2003年 高根沢町で閉鎖された施設を借り  
無認可保育所として矢板で開園

2005年 認可取得

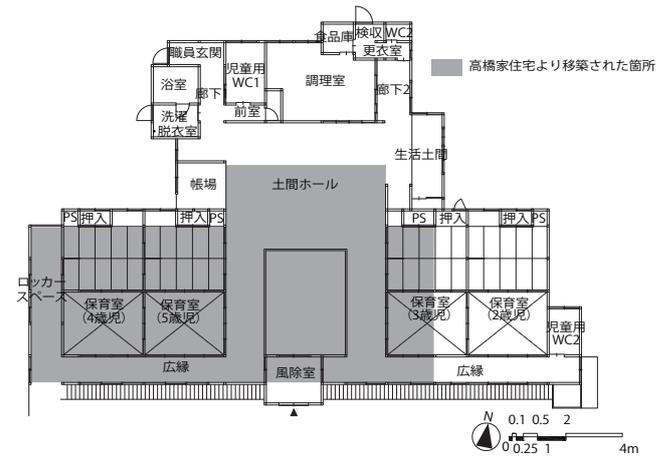
2011年 東日本大震災をめぐり 移築再生 新園舎へ移転



転用前平面図



転用後配置図



転用後平面図



外観



板の間の吹き抜け空間



土間ホール



畳の間



板の間



板の間での食事